

210 mm

がん患者への支援、さらに拡充を

国の高額療養費自己負担上限額の見直しにおいて、小児がんのお子さんの親、ご自身が治療中の方々から悲痛なお声を聞きました。都議会立憲民主党は「生殖機能温存治療や適切な情報発信など、がん患者への支援をさらに拡充すべきと考える」と質しました。

東京都は

「AYA世代のがん患者に卵子凍結保存など生殖機能温存治療や在宅療養における訪問介護の利用などへの支援を実施している。また、AYA世代がん相談情報センターで相談支援に取り組むなど、引き続き、がん患者に対する支援に取り組む」と答弁しました。



都議会立憲民主党は国による高額療養費の自己負担額の見直しに断固反対し、国に対する意見書を作成、厚生委員会に提出しました。

「おひとり様高齢者」への支援強化

都議会立憲民主党は、ひとり暮らしの高齢者への支援を求めており、知事も昨夏の知事選公約で「おひとり様高齢者への支援強化」を掲げました。そこで、私たちは「自分らしく活躍し、不安なく生活できる、そのために、おひとり様高齢者の支援強化にどのように取り組むつもりか、公約の実現に向けた知事の思い」を求めました。



東京都は

「都は、ひとり暮らし高齢者が地域で安心して暮らせるよう、区市町村が行う見守り事業や高齢者の居場所づくり、単身高齢者などを対象とした総合的な相談窓口の設置などを支援している」と述べるとともに「2025年度は、地域の見守り拠点整備に係る支援を拡充し、地域での見守り体制の構築に取り組む」と答弁しました。

都議会立憲民主党は、中高年単身女性が不安定な非正規労働で心身に健康を害したり、子供が独立した後、貧困のまま一人暮らしとなるなどの問題にも早急に光を当てるよう、都に要望しました。

シルバーパス制度の見直し進めよ

高齢者の移動に欠かせないのがシルバーパスです。そこで、都議会立憲民主党は「シルバーパス制度の抜本的見直しは何年程度で実施する見込みなのか」。また、「知事の公約であった多摩都市モノレールをシルバーパスの対象にすることについて、どのように取り組んでいくのか」と答弁を求めました。

東京都は

「制度導入以降の高齢者像や交通事情の変化を踏まえ、アクティブな長寿社会の実現を目指し、高齢者施策全体を総合的に議論する中で検討する」と述べ、具体的な答弁はありませんでした。

令和7年10月からシルバーパスの負担額が現行の2万510円（住民税課税の方）から1万2,000円になります。（住民税非課税の方は変更なく1,000円）

都議会立憲民主党が繰り返し負担軽減を求めてきた要望が一部実現した形です。またICカード化も行われます。



竹井ようこ事務所

〒187-0041 小平市美園町1-1-15-102

TEL&FAX 042-207-1232 Email info@takeiyoko.com

都政に関するご意見・ご要望をお寄せください！

竹井ようこ 検索

210 mm

都議会
立憲民主党

都議会レポート 2025年
春号

東京都議会議員 小平市選出

竹井ようこ
東京都議会立憲民主党

滋賀県生まれ、名古屋育ち。南山大学外国語学部英米学科卒業後、民間通信会社入社。欧州情報通信政策の調査のためベルギーに赴任。2015年～小平市議会議員（2期）、2021年～東京都議会議員。防災士。

つながって、
ささえあう東京へ



発行：東京都議会立憲民主党
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1
TEL.03-5320-7230 FAX.03-5388-1784

賃上げが進み、住まいの改善に取り組む東京に 子育て・教育や人手不足対策、中高年単身女性への支援求める

都議会第1回定例会で私たちは、政治とは、困難を抱える方、スタートラインにすら立てない方に手を差し伸べ、暮らしを底上げすることが本来の役割と考え、誰にでも居場所のある、健全で強い東京をつくることを目指し、小池知事に答弁を求めました。

小池知事は物価高を上回る賃上げの取組や、選挙公約であるアフォーダブル住宅供給による東京の住宅事情の改善、学校教育費無償化などの質問には自ら答えません。

小池都政で続く「答弁拒否」は本当に残念です。

ご一読いただき、都政へのご意見・ご要望をお聞かせ頂ければ幸いです。



幹事長として代表質問を行いました。

誰もが活躍できる社会に向けて改革を



竹井ようこの質問に答える小池知事

昨年の人手不足倒産は前年比81.7%と急増しました。都議会立憲民主党は「誰もが活躍できる社会実現には給与体系や働き方を変えるなど広く改革が必要。令和7年度予算においてフレキシブルワーク（時間や場所、働き方そのものを柔軟に調整できる働き方）やリスキリング（職業能力の再開発、再教育）に新規予算が計上されました。この予算で知事は何を実現しようとしているのか見解を伺う」と質しました。

知事・東京都は

「人の力を最大限引き出す働き方改革が不可欠。7年度、ライフイベントと仕事の両立や希望するキャリアの実現を後押しするため、柔軟な勤務や雇用の仕組みを導入する企業への支援を強化するとともに、社員のリスキリングに向けた環境整備も促す。これらにより、持続可能な働き方を実現する」と答えました。



中面につづく➡

D

100mm

E

100mm

F

97mm（内側に折り込む面）